

<b>報告者</b>	U12部会フェアプレー推進グループ
<b>内容</b>	<p>U12世代の保護者に対して「保護者によるアンケートにより課題を見える化し、今後のバスケットボール環境改善に生かす」ことを目的に実施し、アンケート分析結果を報告する。</p> <p>・実施は2021年3月28日～5月31日。対象はU12で活動を行っている選手の保護者。有効回答数は9332件。</p> <p><b>①基本統計</b></p> <p><b>1) プロフィール</b></p> <p>→ 9割の子どもたちは「楽しんでおり人として成長している」</p> <p><b>2) チーム環境</b></p> <p>→ メインコーチの9割は「教員以外」であり、U15U18と異なり地域スポーツとして行われている。</p> <p><b>3) 自チームの練習試合におけるコーチング</b></p> <p>→ <b>試合中の暴言が、35%</b>(よくある15.2%、たまにある19.8%) <b>試合中の暴力が、10.8%</b>(よくある4.8%、たまにある6.0%)</p> <p><b>4) 自チームの練習におけるコーチング</b></p> <p>→ <b>練習中の暴言が、30.6%</b>(よくある13.0%、たまにある17.6%) <b>練習中の暴力が、9.4%</b>(よくある4.0%、たまにある5.4%)</p> <p>→ 問題のある言動行動があった場合、コーチに改善を訴えやすい環境かどうかについて、5割は訴えられない。</p>

## 内容

### 5) 他のチーム

- **暴言暴力について、他チームのコーチにおいて問題を感じている。  
64.5%**(よくある18.1%、たまにある46.4%)
- **試合中に感情的な言葉や不適切な言葉を投げかける他チームの保護者  
36%**(よくある7.7%、たまにある28.3%。)

### 6) 保護者

- **U12世代で勝つことが最も重要であるという保護者、試合中に応援席からプレーに対して指示する保護者、子どもやチームメイト、コーチなどに対して感情的な言葉や不適切な言葉を投げかける保護者が存在する。  
22.4%**(いる7.2%、たまにいる15.2%)
- **保護者の47%がチームの役割分担や保護者間の人間関係に負担を感じている。**

### 7) インテグリティ

- **インテグリティを認知している保護者は少ない。  
(知っている17.0%、知らない83.0%)。**
- **暴言暴力の啓発活動について認知度は低い、保護者は良好な環境に向けて改善傾向にあると考えている。  
67.5%**(大いに改善14.8%、少し改善52.7%)

## 内容

### ②子どもたちの環境と試合、練習のコーチング

→ 保護者は暴言暴力を問題と感じながらも、試合での勝利や技術の向上、暴言暴力に耐えることを楽しさや成長と捉え、容認しているのではないかという問題がある。

試合中の暴力に問題あり+子どもは楽しんでいる 6%

試合中の暴言に問題あり+子どもは楽しんでいる 27%

練習中の暴力に問題あり+子どもは成長している 6%

練習中の暴言に問題あり+子どもは成長している 23%

### ③保護者の満足度と試合、練習のコーチング

→ JBA が求めているコーチング(暴力・暴言がない、選手の主体的を重視する、成長を促す言動をする、試合に出場させる、勝つことだけを目指さない)が保護者の満足にも繋がっていることがうかがえた。

→ バスケットボールの指導以外にも人間形成に関わる指導も保護者がコーチに求めている側面の1つであると考えられた。

→ 「不満」群のコーチは適切なコーチングができていない割合が高く、そのようなコーチに対して、改善を訴えにくいと感じていることが明らかになった。

→ コーチへの JBA が求めているコーチングの推奨とともに、保護者が改善を訴えられる仕組み作りが求められる。

### ④コーチの属性と試合、練習のコーチング

→ 「年齢」では年配のコーチほど、適切なコーチング（暴言・暴力がない、選手の主体的を重視する、成長を促す言動をする、試合に出場させる、勝つことだけを目指さない）ができていない傾向がみられた。学び続けることや自身のコーチングを見つめ直すことは全てのコーチにとって必須である。

→ 特に「50代」、「60代以上」のコーチは保護者から適切なコーチングができていないと感じられていることから、自身のコーチングを見つめ直す必要があると思われる。

## 内容

### ⑤子どもたちのための充実した環境構築に向けて

#### 1) 適切なコーチングの推奨

＜今後の方策＞

- ・適切なコーチングの推奨のために、U12 カテゴリー「指導行動の指針」の活用。
  - 試合前の代表者会議等で確認することや試合会場、ベンチ、練習会場へ掲出。  
(既に手配済)
- ・全てのコーチにコーチライセンスの取得を促す。
- ・既にライセンスを取得済みのコーチに対しても講習会等で改めて適切なコーチングを推奨。
- ・適切なコーチングについて保護者が理解するための啓発活動。

#### 2) 暴言暴力、感情的な指導の根絶

＜今後の方策＞

- ・暴言・暴力、感情的な指導を根絶するためのコーチ教育。
- ・暴言・暴力、感情的な指導を許してはいけないという保護者への教育。
- ・保護者の適切な行動の指針（指導者の暴言・暴力を許してはいけない、応援マナー等）の作成と掲出。

#### 3) 訴えやすい仕組み作り

＜今後の方策＞

- ・コーチと保護者のコミュニケーションの促進の推奨（保護者説明会等）。
- ・改善を訴えるための仕組み作り（通報相談窓口、審査部門）とその周知。